

JOCV千葉OB会報

2022年8月
No. 101

夏号

1. 事務局長挨拶

こんにちわ、事務局長を務めています古関伸行と申します。平成4年度2次隊で、ガーナに電話交換機で派遣されていました。職場復帰後はシステムエンジニアの仕事をしています。

コロナが今年になってやっと落ち着きを見せ始めたと思ったら第7波と、まだまだコロナの影響が続くなか、会長を始めとして協力隊に関する情報発信や表敬訪問、イベントの企画など千葉OB会では継続した活動をやっていると感じています。ただここ最近のOB会を見ていて感じるのは、活動している人はいつも同じ人で、かつ高齢化が進んでいるということです。昔から活動している高齢OBが今なお現役として千葉OB会の屋台骨を支えているのが現状ではないでしょうか。「いや違う！」と思う方もいるかもしれませんが、そうすると原稿を書き直さないといけないので、そうだと思ってお付き合いください。

今回は、なぜOB会に新しい参加者が増えないのか、どうすればよいか、自分なりに考えてみました。まず、参加者が増えない要因を「社会背景」「組織」「個人」の3つに分けてみます。「社会背景」では、個人情報保護法の影響で情報伝達が滞った結果人が集まらない、「組織」では、OB会に魅力がないので参加者が少ない、「個人」では、考えが多様化しOB会活動以外に重点を置き参加しない、といった要因が考えられます。この中で我々OB会が取り組めるのはどれでしょう。書籍「7つの習慣」では、私たちの関心ごとを「影響の輪」と「関心の輪」に分けています。自分で変えたり影響を与えたりできる「影響の輪」、自分達でコントロールできない「関心の輪」があり、影響を与えることのできる「影響の輪」に集中すべきであると言っています。OB会に当てはめると、「社会背景」や「個人」は自分達で変えるのは難しそうですが、OB会という「組織」は私たちが変えることができる「影響の輪」と言えそうです。でもOB会という組織をどう変えて参加者を増やすのでしょうか。そこで（また無理矢理）考えたのが、6割のOBに関心を持ってもらえる取り組みをしてはどうか、ということです。

話は変わりますが、組織の構成で「262の法則」というのがあります。これは組織を構成すると自然と「頑張る2割」「平均的な6割」「関心の低い2割」で構成されるようにな

るというものです。OB会にもこの法則が当てはまると考えると、頑張る2割は勝手に活動するので、平均的な6割の人に参加してもらえない取り組みができないか、というものです。取り組みとしては色々あるかと思いますが、個人的には活動にもっと遊び心があったら良いのではと考えます。例えばグローバルキッチンでは、世界の料理をその国の出身者の指導のもと、参加者が調理しますが、御宿での開催時には前夜祭と称する交流会がありました。前夜祭ではOB以外にも参加者がいて、刺激を受ける話も多く、私の場合グローバルキッチンより前夜祭がメインでしたが、それが許されるようなOB会などどうでしょう。課題として、場所を提供する方の負担をどうやって軽減するか、といったことがあります。

他にも色々なアイデア、異なる意見があるかと思っています。私としては、OB会として大事にしてきた部分は残しつつ、新しいメンバがOB会の活動を変えていって、ますます活力ある千葉OB会にしていけたらと思います。

いろんな人達が参加して、皆で千葉OB会を盛り上げていきましょう！そしてレジェンド達にも休憩を…。

青年海外協力隊千葉OB会

事務局長 古関 伸行

（平成4年度2次隊 ガーナ 電話交換機）



【ガーナ隊員達との懇親会】

目次

1. 事務局長挨拶
 2. 報告事項
 - (1) 総会開催（5月14日）
 - 1) 2021年度活動報告 2) 会計概要報告 3) 2022年度活動計画
 - (2) 2022年1次隊千葉県庁表敬訪問と壮行会（7月13日）
 3. 「協力隊まつり2022」概要報告
 - (1) 「協力隊まつり2022」全体の振り返り
 - (2) 当会のセッションについて
 4. 『国際化教育推進フォーラムワークショップ』活動見聞記
 5. 当会の「会報」に係るアンケート
 6. 年会費納入のお願い
 7. 編集後記
- ～お知らせ～

2. 報告事項

(1) 総会開催（5月14日）

2年ぶりに総会を浦安市国際センターにて出席者は5名でしたが開催しました。以下は概要です。

1) 2021年度活動報告

新型コロナウイルス感染症対策の影響のため、年度初め活動計画（JOCV ナビ、グローバルキッチン、新派遣隊員/帰国隊員の県庁への表敬訪問や壮行会など）の中止/延期が相次ぎましたが一部ではオンライン会議を実施しました。

月	日	曜	内 容	備 考
【2021年】				
4	18	日	協力隊まつり2021 オンライン参加：千葉OB 会事前打合せ	浦安市国際センター
	20/21 /22	火/水 /木	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	24/25	土/日	協力隊まつり2021（オンライン開催） ＊下表①参照	オンライン参加（まつり全体で国内外接 続者2,600名以上）
5	11	火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	15	土	千葉県 JICA シニアボランティアの会	浦安市国際センター、出席：古関
	21	金	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	22	土	JOCV ナビ ＊6月～9月まで中止	浦安市国際センター
	26	水	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
9	—		会報（No.99）発行	浦安市国際センターにて順次発送作業
10	9	土	JICA エッセイコンテスト2021 集合審査	浦安市国際センター
	23	土	JOCV ナビ	浦安市国際センター
	6/26	水/火	『国際化教育推進フォーラム in 野田』の事前ワ ークショップ開催	西武台千葉中学校・高等学校（対象：生 徒）
	30	土	『国際化教育推進フォーラム in 野田』開催 後援：野田市教育委員会、(独)国際協力機構	野田市文化センター樺ホール
11	2	火	『国際化教育推進フォーラム in 野田』の振り返り ワークショップ開催	西武台千葉中学校・高等学校（対象：生 徒）
	6	土	2021 関東ブロック会議（オンライン）	オンライン参加：西村
	20	土	第76回 千葉県 JICA 協力隊を育てる会理事会	(公財)千葉市国際交流協会：出席：西村
	27	土	JOCV ナビ	浦安市国際センター

12	13	月	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	16	木	オンライン帰国報告会（千葉デスク）	出席：西村
	18	土	JOCV ナビ	浦安市国際センター
【2022 年】				
1	10/11	月/火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	15	土	第 77 回 千葉県 JICA 協力隊を育てる会理事会	(公財)千葉県国際交流協会：出席：西村
	17	月	千葉県 JICA シニアボランティアの会と話し合い	オンライン出席：西村
	27	木	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	29	土	JOCV ナビ	浦安市国際センター
	29	土	会報（No.100）発行	浦安市国際センターにて発送作業
2	18	金	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	22	火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
3	1	火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	26	土	JOCV ナビ	浦安市国際センター
	28	月	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村

① 協力隊まつり 2021 下表は当会のプログラム

前年度の経験を踏まえてオンライン(Zoom)で開催され、当会は以下のプログラムで OB/OG が参加しました。
(敬称略)

4 月 24 日 (土)		4 月 25 日 (日)	
11:00 ～12:00	[OB 隊員の対談会] 木村明日美(2017-2、青少年活動、キルギス) 佐藤秀樹(H13-3、野菜栽培、エクアドル)	[派遣中隊員と OB 隊員との対談会] 山崎鉄平(2019-3、体育、カンボジア) 高橋克彰(H13-1、SE、シリア)	
12:00 ～13:00	[協力隊終了後の進路：JICA 特別嘱託] 吉野佐和子(H23-1、青少年活動、セネガル)	[協力隊終了後の進路：国際機関] 伊藤常子(H20-3、空手、ヨルダン)	
13:00 ～14:00	[OB 隊員の対談会] 高橋克彰(H13-1、SE、シリア) 渡邊 葵(2019-1、日本語教師、ブラジル)	[協力隊終了後の進路：開発コンサルタント&公務員] 高梨直季(H22-4、村落開発普及員、PNG) 石井和由(H20-3、観光業、タイ) 井上洋輔(2017-2、スーダン、2019 短期、東ティモール、障害児・者支援)	
14:00 ～15:00	[派遣中隊員と OB 隊員との対談会] 鈴木拓馬(2019-2、柔道、カンボジア) 高橋克彰(H13-1、SE、シリア)	[協力隊終了後の進路：船橋市議会議員] 石川 亮(H16-、村落開発普及員、ケニア)	
15:00 ～16:00	[協力隊終了後の進路：大学教授] 成瀬 猛(S52-1、土木施工、シリア)	[協力隊終了後の進路：JICA 職員] 平澤昭雄(S43-2、稲作、フィリピン) 浜田真一(S51-2 前、測量、ケニア)	

② JICA エッセイコンテスト 2021 について

今年も例年通り中学生の部における一次審査（各都道府県レベル）を行いました。昨年度は新型コロナの影響が最も顕著に表れ、過去最少のわずか 444 作品だけになってしまいましたが、2021 年度は何とか持ち直して 1,151 作品集まりました。

まず在宅審査員 8 名により予備審査を行い、10 月 9 日（土）浦安市国際センターにおいて、3 名の集合審査員により一次審査通過作品 9 作品を選出しました。二次審査と最終審査を経て、最終的な受賞内容は理事長賞や外務大臣賞などの上位入賞者はいみじくもありませんでしたが、国内機関長賞 1、佳作 5、青年海外協力隊 OB 会会長賞 2 の個人賞のほか、特別学校賞 1 校、学校賞 5 校が受賞しました。応募作品を読んで感じたことは、長期化するコロナ禍もあり応募作品のタイトルが国際問題よりも国内の色々な問題や課題に関するものが多くなり、より身近なものとなっていることです。「当たり前なんてない」とか「祖母の教える胸に」とか「どんな個性でも認められる世界」と言うタイトルが心に残りました。

今年も夏休みが始まる今現在、中学生は夏休みの課題として色々な機関が実施する作文コンクールへの応募作品を書くことになってますが、どんな作品に巡り合えるか今から楽しみです。

2) 会計概要報告

令和3年度の会計決算は下記の通りです。

<収入>

会費、JOCA 共同事業費・交流事業費、エッセイコンテスト 2021、JICA 活動支援資金、銀行利子

合計 742,930 円

<支出>

活動（会報発行、「国際化教育推進フォーラム in 野田」、エッセイコンテスト 2021、協力隊まつり 2021、JOCA ナビ） 活動費 計 826,360 円

事務経費（諸会費、送金手数料、旅費交通費、通信費等） 事務経費 計 69,610 円

支出の部 合計 895,970 円

<当期収支> -153,040 円 <前年度繰越金> 959,937 円 <次年度繰越金> 806,897 円

3) 2022 年度活動計画

2022 年度も前年度同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、諸活動計画に影響が出ています。主な活動計画は以下のとおり（7 月末までは実施済）。

月	内 容
4	JOCV ナビ (4/23)
	浦安市国際センター
5	協力隊まつり 2022 (4/23,24) *後述
	市ヶ谷、JICA 関西センター、各オフィス
5	2022 年度総会 (5/14)
	浦安市国際センター
6	JOCV ナビ (5/28)
	浦安市国際センター
6	JOCV ナビ (6/25)
	浦安市国際センター
7	2022 年 1 次隊千葉県庁表敬訪問&壮行会(7/13)
	千葉県庁、壮行会：汐菜(しおさい)
	「国際化教育フォーラムワークショップーあなたにとって「豊かな社会とは？」ー」(7/15)
	西武台千葉中学校・高等学校
7	JOCV ナビ (7/23)
	浦安市国際センター
8	定例会 (7/23) *ハイブリッド形式
	浦安市国際センター & 自宅等
8	JOCV ナビ (8/27)
	浦安市国際センター
9	会報 (No.101) 発行 (8/28)
	浦安市国際センターにて発送作業
9	JOCV ナビ (9/24)
	浦安市国際センター
9~10	定例会 (9/24)
	浦安市国際センター
10	JICA エッセイコンテスト 2022
	浦安市国際センター
10	エコメッセちば (対面)
11	JOCV ナビ (10/23)
	浦安市国際センター
11	JOCV ナビ (11/26)
	浦安市国際センター
12	定例会 (11/26)
	浦安市国際センター
12	JOCV ナビ (12/24)
	浦安市国際センター
1	会報 (No.102) 発行
	浦安市国際センターにて発送作業
1	JOCV ナビ (1/28)
	浦安市国際センター
2	定例会 (1/28)
	浦安市国際センター
2	JOCV ナビ (2/25)
	浦安市国際センター
3	JOCV ナビ (3/25)
	浦安市国際センター
3	定例会 (3/25)
	浦安市国際センター

(2) 2022 年 1 次隊 千葉県庁表敬訪問と壮行会（7 月 13 日）

凡そ 3 年ぶりに千葉県庁表敬訪問と壮行会を実施しました。今回の派遣隊員は 6 名で派遣国はエルサルバドル、エジプト（2 名）、ニカラグア、インド、ジンバブエです。

① 千葉県庁表敬訪問

表敬訪問では出席者の紹介に続き、JICA 東京総務課 中川亨之課長が挨拶をしました。その後、派遣隊員は自己紹介とともに赴任地での活動内容や抱負を語りました。千葉県からは総合企画部 富沢昇地域づくり担当部長が挨拶し、隊員に激励の言葉を贈りました。続いて、派遣隊員の代表者から挨拶とともに海外協力隊の活動にける想いや決意を述べ、最後にチーバくんと一緒に全体で記念撮影を行いました。（右写真：派遣隊員とチーバくん記念撮影）



② 壮行会 於：日本料理 汐菜（しおさい）

派遣隊員の自己紹介に続き、千葉県 JICA 協力隊を育てる会 八林明生会長、千葉県 JICA シニアボランティアの会 三輪達雄会長、JICA 東京総務課 中川亨之課長、当会 西村会長からの派遣国での留意すべき事や激励の言葉を送りました。（右写真：育てる会会長 八林昭生会長挨拶）



3. 「協力隊まつり2022」概要報告

過去 2 年の経験を踏まえて 2022 年度はリアル（市ヶ谷：JICA 地球ひろば、神戸：JICA 関西センター）とオンライン（Zoom）で開催され、当会は以下のスケジュールで OB・OG がオンライン参加しました。（敬称略）

4 月 23 日（土）		4 月 24 日（日）
11:00 ～12:00	[協力隊活動と地域農業の貢献] 五十嵐大介、五十嵐早矢加	[協力隊活動と今の職業] 田仲永和
12:00 ～13:00	[対談：JOCV 隊員活動と期待] 山崎鉄平、武井果奈子	[対談：派遣中活動と帰国後の進路] 鈴木拓馬、木村明日美、石井和由
13:00 ～14:00	[協力隊活動と包摂的な地域づくり：「松戸市における SDGs をテーマとした市民活動の取り組み」] 佐藤秀樹	[協力隊経験を踏まえて「こども哲学対話」] 常磐亜矢子
14:00 ～15:00	[「国際化教育推進フォーラム in 野田」の振り返り] 実行委員長 成瀬猛 委員 常磐亜矢子、西村邦雄	[対談：協力隊活動の経験と進路] 大長賢太郎、高橋克彰
15:00 ～16:00	[対談：協力隊活動と地域おこし] 城谷俊太、三宅恵美子	[アフリカ、大洋州、開発途上国、感染症（マラリア・蚊？）のお話] 渡辺 章

《補足》上表の登壇者は以下のとおり（2022 年 4 月現在）

派遣中隊員・待機中隊員

・山崎鉄平	2019-3 カンボジア（体育）	カンボジア在住
・大長賢太郎	2021-7 カンボジア（理科教育隊員）	カンボジア在住
・武井果奈子	2019-1 ベリーズ（障害児・者支援）	日本（再派遣待ち）

OB/OG

・五十嵐大介	2009-3 キルギス（家畜飼育）	〔農業（野菜・花・米の販売、体験イベント開催）、 キルギス羊毛キルトの輸入販売（南房総市） 千葉県庁観光誘致促進課勤務 JICA 千葉デスク〕
・五十嵐早矢加	2010-3 キルギス（村落開発普及員）	
・石井 和由	2008-3 タイ（観光業）	
・木村明日美	2017-2 キルギス（青少年活動）	

- ・佐藤 秀樹 2001-3 エクアドル（野菜栽培）
- ・城谷 俊太 2018-3 キルギス（青少年活動）
- ・鈴木 拓馬 2019-2 カンボジア（柔道）
- ・高橋 克彰 2001-1 シリア（SE）

- ・田中 永和 2017-1 マラウイ（小学校教員）
- ・常盤亜矢子 1995-1 ザンビア（理数科教師）
- ・成瀬 猛 1977-1 シリア（土木施工）
- ・浜田 真一 1976-2 前 ケニア（測量）
- ・森下 徳顕 2016-3 ボリビア（サッカー）
- ・三次恵美子 2003-1 マーシャル（理数科教師）
- ・渡辺 章 2005-2 PNG（感染症対策）/2009-2 ミクロネシア（感染症対策）
- ・西村 邦雄 1982-4 ネパール（理数科教師）

江戸川大学社会学部現代社会学科専任講師 博士（農学）、
専門：環境教育、環境社会活動
子ども支援活動（いすみ市）
民間会社勤務（大阪）
JOCV（シリア 5 年（一般短期、シニア隊員（今の FC フィールド調整））、海外大学院 2 年、大使館 2 年、外務省 1 年、JICA 本部 3 年勤務、民間インドネシア滞在 6 年、JICA 企画調査員（円借款監理）ベトナム在住
市立小学校勤務（君津市）
こども哲学対話（その他開発教育、大人哲学対話、読書会等）開催
元 JICA 職員、麗澤大学元教授
元 JICA 職員
サッカー指導（柏市）
地域を繋げる活動や「グローバルチキン」開催（御宿町）
まつど国際文化大使（出前講座、文化紹介）、SV 派遣待ち
開発コンサルタント、私大非常勤講師

(1) 「協力隊まつり 2022」全体の振り返り

今回の「協力隊まつり 2022」は市ヶ谷会場（東京）と JICA 関西（神戸）の 2 か所でリアル、かつオンラインでも開催された。参加団体は、市ヶ谷会場で 26 団体、関西会場で 23 団体、オンラインで 26 団体であり、総計延べ参加団体数は 75 団体（実団体数 49）であった。参加人数（リアルの 2 日間）は JICA 市ヶ谷会場では計 598 名、JICA 関西会場計 413 名であった。今回は初めて JICA 関西でも開催することになったため「まつり」全体の準備が遅くなり事前広報が遅れて参加人数が少なくなったものとみられる。主催は、協力隊まつり実行委員会、共催は、独立行政法人 国際協力機構 青年海外協力隊事務局、後援は、公益社団法人 青年海外協力協会、一般社団法人 協力隊を育てる会、新宿区 新宿区教育委員会と多くの公的団体の支援を受けて開催された。

(2) 当会のセッションについて

両日とも登壇者による自己紹介、隊員時代の活動、現在の活動／仕事等を多数の PP を使って説明されました。その後質疑応答も行われました。（以下はスクリーンショットのほんの一部です。）

4月23日（土）

[協力隊活動と地域農業の貢献] 五十嵐大介、五十嵐早矢加
*朝日新聞 GLOBE No.251（2022 年 3 月）に「My Episode0：JICA 協力隊 - バレケの村・副村長」掲載
YouTube「挑戦者の原点—My Episode 0—」（五十嵐早矢加／キルギス／村落開発普及員）で見れます。

＜要請内容＞インククリ州において展開されている一村一品運動を用い、インククリ県を担当エリアとして村落住民の組織化、商品開発に関する意識調査および素材の発掘、商品の品質向上や販売アドバイスを行う
＜配属先＞インククリ県テメル村役場

文化交流
イベントで日本文化紹介

1.運動参加者発掘
2.商品製造
3.商品販売
4.組織強化
5.文化交流

バレケの村を始めた経緯
大介 家畜飼育員（キルギス23年） 早矢加 村落開発普及員（キルギス23.3）
乳業会社でサラリーマン 製造メーカーに復職のち北海道で地域おこし協力隊
キルギス人がいたような家庭農業をしよう
2016年北海道にてバレケの村設立。後に、千歳市南陽に移転。

バレケの村で行っている事業
●農産物生産 ●イベント開催
●加工 ●キルギス雑貨輸入販売

バレケの村のコンセプト
バレケとは～
キルギス語で「恵み・贈り物」。
キルギス人が自然と共存共生している姿に感動を受け、日本で農を通じてキルギスから学んだことを実践していきたいという思い
～ふれあえる、をつくる～
環境負荷のななへく振らない「循環農業」を定めた畑から生み出される花や野菜たち。自然と人がふれあえるのづくり。人々とながらふれあえる農産づくりを、地域がつながる農産づくりを通して、「みんなのふれあえる」をつくりたい。

バレケの村の未来予想図

[対談：JOCV 隊員活動と期待] 山崎鉄平、武井果奈子

自己紹介
千葉県の特別支援学校（知的、職業科）で勤務
2019年7月 ベリーズに派遣（2021年3月まで派遣予定）
2020年3月 新型コロナウイルスの感染拡大で緊急帰国
2020年8月 復職。空席特別採用に
2021年4月 県内特別支援学校（知的、普通科）に異動
2022年5月 ベリーズに再派遣（2023年3月まで）

なぜ協力隊に？
これからはダイバーシティの時代・・・
「今の世界が全てではないよなあ」「自分の置かれた環境で生きていくだけじゃいけない」
自分の当たり前が当たり前ではない世界を知りたい
（考え方、文化、障害のある子が教育を受けられるのが当たり前ではないこと）
海外で働いてみたい
教員としてのアイデンティティ
自分の手で子どもたちに伝えられるもの

時間割の提案
Special Ed (SPED2.3) Time Table
Time Mon Tue Wed Thu Fri
8:30-9:00 Circle Time
9:00-9:30 Literacy Skills
9:30-10:00 Numeracy Skills
10:00-10:30 B R E A K
10:30-11:00 Individual Study
11:00-11:30 Life Skills
11:30-1:00 LUNCH
1:00-1:10 Life Skills (Break: teeth)
1:10-1:50 P.E. Music Gardening
1:50-2:30 Arts Ancillary services
*子どもも先生も全員が「できる」時間割で 見直しをもって取り組めるように

ASD教員研修（職員全員+教育者）
Use simple and concrete sentence.
"It's pretty."
-Put hands on your knee (example)
Strategy 4 Make invisible to visible.
Strategy 2 Visual Reinforcement

国際協力機構 青年海外協力隊へ参加
派遣期間: 2002年4月〜2004年4月
派遣国: エクアドル
職種: 野菜栽培

●参加した動機

- ① 開発途上地域の農業生産者やその関係者と一緒に働いてみたい!
- ② 国際協力・交流を通して世界とのつながりを
実感したい!

大田 啓子



〔「国際化教育推進フォーラム in 野田」の振り返り〕 実行委員長 成瀬猛、委員 常磐亜矢子、西村邦雄

第三部 パネルトーク



【対談：協力隊活動と地域おこし】 城谷俊太、三次恵美子

4月24日(日)

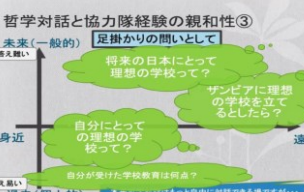
[協力隊活動と今の職業] 田仲永和

7

[対談：派遣中活動と帰国後の進路] 鈴木拓馬、木村明日美、石井和由

キルギスの問題と私の活動  ・JICA海外協力隊 ・子ども教育センター ・回工、日本語/日本文化	キルギスの問題  教師、看護師の平均月給13,000円〜15,000円。仕事も少なく病院に勤務している人が多い。 二つの性別はされず、母では大きなやわらかさで育てられ、母ではすべて一線に包摂されて居る。	帰国後、そしてこれから... 現在：JICA千葉デスク 協力隊の経験を一般の方々に伝え、国際協力への理解・関心を高める これから：大学院（ジェンダーと開発） キルギスと日本、他の国でジェンダー平等に向けて活動 夢：世界のあちこちに大切な人やもの、場所が存在する状態	活動概要 柔道  ①技術指導 ②宣伝・普及活動 ③講習会開催									
コロナ禍の取り組み オンラインレッスン 	ミッションは「外国人観光客をチェンボンへ」  ・タイ人に人気の「植林ツアー」を外国人向けにアレンジ ・タイの高校で日本語クラスのお手伝い ・バンコク在住の日本の小中学生との交流へ	他にも...こんなことやってました ・外国人用のマップ作り(どう楽しむか??) ・ウェブサイト制作(交通アクセス/どうやって行くのか??) ・セールズ活動(首都のゲストハウス、旅行会社など) ・日本PR(地元の人が知ってもらいたいこと) 協力隊経験で実感したこと <table border="1"> <tr> <td>①異文化を理解</td> <td>②うまくやっていくコツ</td> <td>③成果を出すには?</td> </tr> <tr> <td>・異文化は文化によって違う ※理解も異なる</td> <td>・まず話を聞くこと ※相手の意見を尊重</td> <td>・成功体験 ※地元の人の成果を尊重</td> </tr> <tr> <td>・コミュニケーションが一番 ※言葉は二重</td> <td>・壁にぶつかったら相談 ※仲間は大事</td> <td>・やってみよう、やらせる ※時には、みまもり</td> </tr> </table>	①異文化を理解	②うまくやっていくコツ	③成果を出すには?	・異文化は文化によって違う ※理解も異なる	・まず話を聞くこと ※相手の意見を尊重	・成功体験 ※地元の人の成果を尊重	・コミュニケーションが一番 ※言葉は二重	・壁にぶつかったら相談 ※仲間は大事	・やってみよう、やらせる ※時には、みまもり	公的機関(観光関係)ができる事 ・地域力アップのお手伝い(主役は地元) ・利益に縛られない宣伝活動(業界、地域の垣根なし) ・人々、企業と地元を繋ぐ(1+1=100) ・小さな芽(可能性)を大きく育てるお手伝い
①異文化を理解	②うまくやっていくコツ	③成果を出すには?										
・異文化は文化によって違う ※理解も異なる	・まず話を聞くこと ※相手の意見を尊重	・成功体験 ※地元の人の成果を尊重										
・コミュニケーションが一番 ※言葉は二重	・壁にぶつかったら相談 ※仲間は大事	・やってみよう、やらせる ※時には、みまもり										

[協力隊経験を踏まえて「こども哲学対話」] 常盤亜矢子

「哲学な野田」の活動 最近の開店休業状態ですが...  大人哲学対話 実践ゲーム	「国際化教育推進フォーラムin野田」での活動 野田市にある、西武台千葉中・高等学校で 事前・振り返りワークショップを開催 第1回 1)アイスブレイク 2)フォードランゲージ 3)リーダーチャート 第2回 1)アイスブレイク 2)豊かな社会(自分にとって) 3)豊かな社会(世界にとって) 第3回 1)アイスブレイク 2)フォーラム振り返り 3)未来予想図 4)豊かな社会	哲学対話と協力隊経験の親和性③  未来(一般的) 足掛かりの問いとして 未来(個人的) 自分にとっての理想の学校って? 身近 自分にとっての理想の学校って? 遠い ザンビアに理想の学校を立てるとしたら? 答えにくい 自分だけが理想の学校教育は何か? 答えやすい 未来の学校はもっと自由に開校できる場所か?	ルール③ みんなで楽しもう! 他の人のいけんもよく聞こう。 人のいやがる事は、しない、言わない。
---	---	---	---

[アフリカ、大洋州、開発途上国、感染症(マラリア・蚊?)のお話] 渡辺 章

アフリカ?大洋州? 開発途上国?野生動物、感染症(マラリア)? アフリカには何か国があるの? 国連には何か国加盟しているのかな?	蚊が媒介(ばいばい)する感染症です ▶4種類のマラリア ▶① 熱帯熱マラリア (危険なマラリア) ▶② 三日熱マラリア ▶③ 四日熱マラリア ▶④ 卵型マラリア	蚊の種類 (3,266種/世界、123種日本) 	ハマダラ蚊の56種類がマラリアを伝播 △活動しやすい環境 暖かい、湿度高、夜間活動、繁殖力、吸血、強い生命力 ▶マラリア:全世界で2〜3億人、40万人以上死亡 ▶戦後、マラリアは、全国で流行しました。1946年のマラリア患者数は累計上だけでも2820人。法定・指定・届出伝染病28種のうち、赤痢、ジフテリア、腸チフス、発疹チフスに次いで患者数は5位を占め、人口10万人に対する罹患率は36.8パーセントに上ります。
---	--	--	---

4. 『国際化教育推進フォーラムワークショップ』活動見聞記(西村邦雄記)

当会は昨年10月、野田市において『国際化教育推進フォーラム』を開催しました。このフォーラム開催に向けて成瀬猛OBと常盤亜矢子OGが中心となって企画・交渉を進めました。その際、常盤OGが野田市西武台千葉中学校・高等学校において事前／事後ワークショップを開催していたことを聞き、私はどのような内容・雰囲気で行ったのかと聞きました。今春、常盤OGと成瀬OBから今年度も同様なワークショップを開催することを聞き、是非見たいと思い、第1回ワークショップに参加しました(写真参照①②)。

今年度のワークショップは下記の◆ねらいをもって5回開く予定です。

◆タイトル

“国際化教育推進フォーラムワークショップ”

『あなたにとって「豊かな社会とは？」-共生社会の創出とコーディネーター人材の育成-』

◆ねらい

・生徒に国際協力に興味やグローバルな視点を持って頂く。さらに世界に目を向けることでより日本や身の回りのことを深く考えるきっかけとしていただき、今後の学習へのモチベーションを高めていただく。

・途上国＝かわいそう・貧困では終わらない、「豊かさとは何か?」という問いを軸とし、対話を多く取り入れたワークショップを通して、自分の意見を他人にわかりやすく伝える、異なる意見に対して真剣に耳を傾け受け入れる能力を育む。答えのない問いに対して考え続ける力を養う。

◆会場 西武台千葉中学校・高等学校(野田市)

◆対象 中学3年から高校2年生（定員：30人（第1回を除く））

◆開催時間 15:45～17:15（90分間）

但し第1回のみ 13:30～15:30（120分間）

①第1回

- ・内容：映画「クロスロード」鑑賞（2時間）
- ・日時：7月15日（金）
- ・時間：13:30～15:30
- ・場所：教室
- ・その他：事後映画感想アンケート（google form）

②第2回

- ・内容：JICA 事業・JOCV 活動について
- *最初に映画の感想（含むアンケート回答）の共有時間あり
- ・講師：成瀬
- ・日程：9月20日（火）

③第3回

- ・内容：ワークショップ（フォトランゲージ、レーダーチャート）
- *一部協力隊活動の紹介あり
- ・ファシリテータ：常盤&生徒ボランティア
- ・日程：11月15日（火）

④第4回

- ・内容：ワークショップ（豊かな社会にとって大切なこと）
- 最初に JICA の映像などを使って途上国の紹介有り
- ・ファシリテータ：常盤&生徒ボランティア
- ・日程：1月24日（火）

⑤第5回

- ・内容：ワークショップ（ブレインストーミング「貧困」と「豊かさ」）&『わたしにとっての「豊かな社会」とは？』発表
- ・ファシリテータ：常盤
- ・日程：2月14日（火）



[ワークショップ用ポスター]

《第1回ワークショップの様子》

最初に成瀬 OB が JICA 協力隊のことと、映画「クロスロード」について説明しました（写真①②）。映画鑑賞後は常盤 OG がアンケートを取りました（アンケート結果参照）。



←
写真①

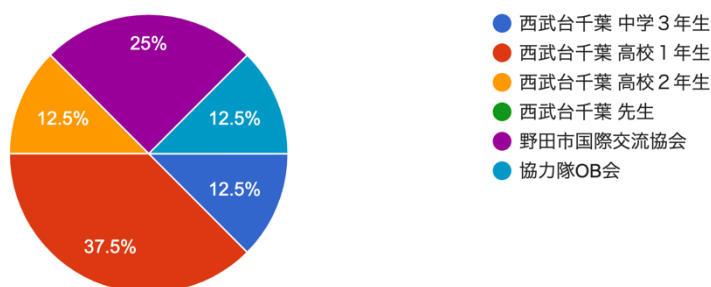


→
写真②

[第1回 映画「クロスロード」鑑賞（7月15日）後のアンケート結果（抜粋）]

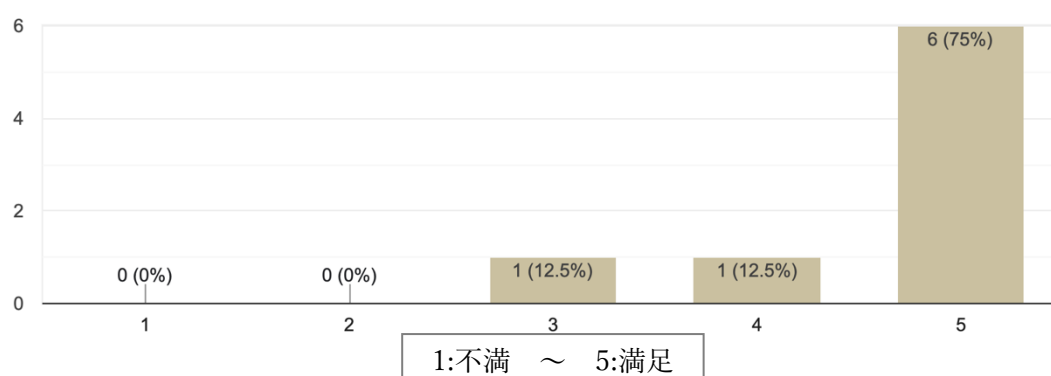
(1) 所属は何ですか？

8件の回答



(3) 映画「クロスロード」鑑賞会の満足度について教えてください？

8件の回答



(4) (3)で答えた理由は何ですか？なるべく詳しく教えてください。

・中学生の時に、地球ステージに出させて頂いたり、その事前学習、事後学習を受けて、国際協力について興味を持つようになったから。

・主人公の意見が変わるまでの描写がしっかりあり、人間関係などもどのような感じられたからです。あと、フィリピンと昔の日本との関係もあったのが歴史好きとして興味がありました。

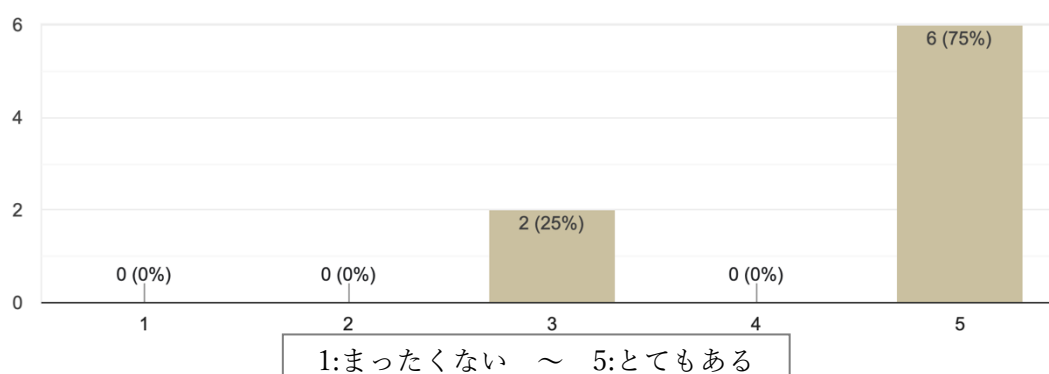
・映画を見て JICA の事などを深く知る事ができ、とても感動するシーンや共感できるシーンがあったから。

・いいことだけでなく悪いところ(殺されかける)も必ずあるということ。 それを通して尚主人公が変わろうとしたところに感動した。

など

(5) JICA海外協力隊に興味がありますか？

8件の回答



- ・どのように現地の人と関わっていくか
 - ・途上国発展への協力
 - ・発展途上国に赴いて日本だけにとらわれない！海外旅行で行く場所ではないからリアルが知れると思う。今の自分のちっぽけさを自覚したい。
- など

(7) その他感想・質問などありましたら、記入してください。(4 件の回答)

- ・充分に楽しんで理解することができました。
 - ・今回の観賞会で、協力隊の凄さなどを映画を通じて学ぶことができたので良かったと思います。 次の講義会を楽しみにしています！！
- など

5. 当会の「会報」に係るアンケート

現在会報は原則的に年に2回（夏号、冬号）を発行し、2000部を印刷して、当会が住所を把握している千葉県出身OBOG約1100名の他全国のOB会、JICA関係機関、千葉県庁・千葉県内各国際交流協会などに会報を送っています。ただ、近年会報発行の経費や発行に至る諸作業が重荷になりつつあり、2年前から当会のホームページにデジタル版を掲載していることもあり、今後の会報発行に関し再検討するためアンケート調査を行うことにしました。

お手数ですが下記のQRコードからアクセスしてご回答頂くか、或いは当会のメールアドレス(info@jocvchiba.net)宛てにメールでお答え下さい。なお、メールでお答え下さる場合、Q2・Q3の回答は該当する項目のみを書いてお送り下さい。

Q1-1 氏名 ()

Q1-2 隊次 ()

Q1-3 派遣国 ()

Q1-4 職種 ()

Q2 これからも継続して紙ベースでの会報発行を希望しますか？

☐ 希望する ☐ 希望しない ☐ デジタル版で良い

Q3 会報の発行回数は何回が適当だと思いますか？

☐ これまで通り年2回 ☐ 年1回で良い

Q4 自由記載（お気づきの点や改善点などがありましたらご記載下さい。）



6. 年会費納入のお願い

当会の会報は派遣中隊員と帰国隊員の寄稿、並びに報告事項などで構成され、年に2回（夏号、冬号）を発行しています。この会報の発行が当会の支出費目として大きなウェイトを占めています。特に、2021年度には『国際化教育推進フォーラム in 野田』（10月30日）を開催し、JOCAの共同事業費・交流事業費とJICAの支援経費を申請しましたが赤字決算となりました。

つきましては、当会運営の生命線である「年会費（1口「1,000円」）」のご協力をお願いします。2口以上のご支援も大歓迎です。当会運営の生命線は「年会費」ですので、引き続きご協力いただくようお願いいたします。尚、振込にあたっては「派遣国」と「隊次」を必ずご記入ください。

☆振込口座は以下の2行のどちらかにお願いします。

銀行名 : ゆうちょ銀行（当座預金）
 店番 : 029（ゆうちょ以外からの振込用）
 記号/口座番号 : 00290-1-96562
 名義人 : 青年海外協力隊千葉 OB 会

銀行名 : 三菱 UFJ 銀行 船橋駅前店
 記号/口座番号 : (普) 4769024
 名義人 : 青年海外協力隊千葉 OB 会

7. 編集後記

今年の夏は、昨年の晩夏に新調したエアコンのお蔭で快適な生活が送れています。これまで余程の熱帯夜や猛暑でなければエアコンを使わない生活をしてきたため、エアコンの電力消費量を気にしたことがありませんでした。今年はエアコンをよく使っていることもあり、時々リモコンについている消費電力を表示してみています。その結果、自動制御の空調と冷房&除湿では消費電力が4倍位違うことを知り驚きました。冷房か除湿、もしくは併用が電力をたくさん必要としていることに気付いてからは自動制御に一任しています。

近年は日本のみならず世界各地での災害のニュースをよく目にします。暑い時期や寒い時期に災害等で電気や水の供給が止まると命の危機にも直面するため、暑さへの対策はとても難しいですが、日頃から万が一を想定した物品や情報の準備が大切だと改めて感じました。「備えあれば憂いなし」という先人の言葉を見習います。

（平成27年度3次隊 ウズベキスタン共和国 PCインストラクター 高石 千絵）

～お知らせ～

ホームページのご紹介

新ホームページはまだまだコンテンツが少ないので、掲載する内容など募集中です。地域での国際交流活動など、なにかネタがあればご連絡ください。

URLは下記ですが、「青年海外協力隊千葉 OB 会」で検索していただくことでもアクセスできますので、是非ともご覧ください。

青年海外協力隊 千葉 OB 会 ホームページ: <https://jocvchiba.org/>

メーリングリスト／Facebook グループのご案内

上記ホームページにて、当会のメーリングリストと Facebook グループへの参加をご案内しております。是非ご参加ください。